

エコアクション21

環境経営レポート2020

[対象期間] 2020年 1月～2020年 12月

[作成日] 2021年 3月 31日

[改訂日] 2021年 5月 19日

環境経営レポート2019
で受賞しました!



宮崎駅西口 2020.10月完成


目 次

1. 事業概要	P. 1
2. 経営理念、環境経営方針、SDGs	P. 2
3. 過去3年間の環境負荷の調査結果（実績）	P. 3
4. 環境負荷の削減目標と、目標に対する実績	P. 4
5. 今期の主要な環境活動と取組結果の評価、関連SDGs	P. 5 ~ P. 10
6. 次年度の活動取組内容	P. 11
7. 環境関連法規等遵守状況の確認、及び評価の結果、並びに 違反、訴訟の有無環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 12
8. 代表者による全体評価と見直し結果	P. 13



I. 事業概要

会社概要

会社名	株式会社 旭道路	
代表者名	代表取締役 木下裕介	
住所	〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋 3380番地 59	
創立	1985年 9月 4日	
資本金	1,000万円	
建設業の許可	宮崎県知事（般-1）第7599号	
許可有効期間	令和 1年 5月 24日 ~ 令和 6年 5月 23日	
建設業の種類	舗装工事、土木工事、とび・土工工事	

対象範囲・環境管理責任者・事務局連絡先

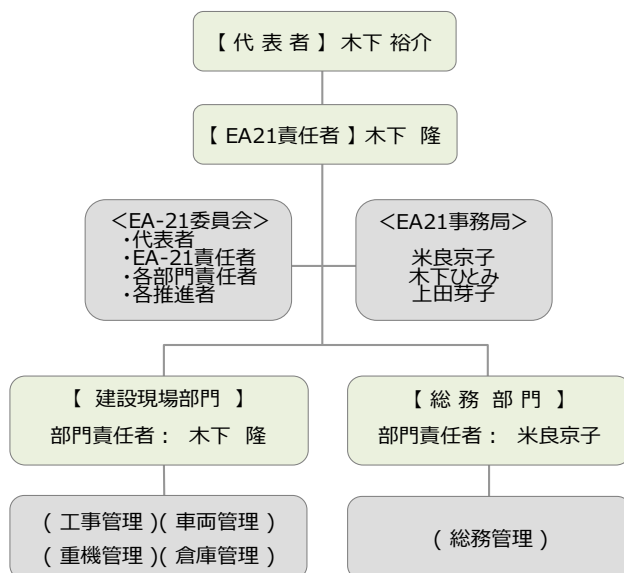
認証・登録範囲	〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋 3380番地 59
EA21担当者	[EA21責任者] 工事部：木下 隆 [EA21事務局] 総務部：米良 京子
連絡先	[TEL] 0982(53)2289 [FAX] 0982(52)3491

事業規模

活動規模	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
完成工事高	百万円	400	425	318	280	251
工事件数	件	112	109	78	76	46
従業員	人	19	21	19	13	13
床面積	m ²	193	193	193	193	193
敷地面積	m ²	1108	1108	1108	1108	1108

EA21推進体制 (2021.3.31現在)

役員	3名
総務部	2名
工事部	7名
合計	12名



経営理念

株式会社 旭道路は、昭和60年（1985年）の創業以来、舗装工事の専門業者として、社会基盤の整備維持に携わって参りました。

「道路」は、みなさまの暮らしを支える重要なライフラインです。私たちは、その社会基盤を整え維持していく事業者として誇りを持ち、高い技術と品質で社業の発展を図り、社会に貢献すると共に、社員が誇りに思える会社を目指します。

環境経営方針

私たちは、美しい環境に恵まれた郷土を守り、また次なる子供達の世代へ緑豊かな地球を受け継いでいくことが重大な責務だと考えます。

株式会社旭道路の事業活動による環境負荷を真摯に受け止め、その負荷の低減に社員全員で自主的・積極的に取組み、継続的な改善に努めます。

1. 地球環境への負荷削減のため、次の項目を優先的に実行します。

- ① エネルギー使用量節減によるCO₂排出量の削減
- ② 廃棄物の削減、リサイクルの推進
- ③ 水使用量の抑制

2. 事業活動に関連する法規制、条例その他規制を遵守します。

3. 新技術活用や創意工夫で、安全且つ効率的な施工、及び環境に配慮した施工に努めます。

4. 化学物質の使用抑制に努めます。

5. 全社員へ環境教育を実施し、地域貢献活動等を通じて、環境意識の向上を図ります。

この環境方針は全社員に周知徹底し、一般に開示します。

制定日 2008年 11月 28日

改定日 2020年 7月 15日

株式会社 旭道路 代表取締役 木下裕介



株式会社 旭道路は 持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

株式会社旭道路は、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に、自社の事業活動を通じて貢献して参ります。
私たちは自社の本業の中で、無理をせず今できることから優先的に取り組んで参ります。

3. 環境負荷の調査結果

過去3年間の環境負荷実績は次の通りです。

過去3年間の環境負荷実績

環境への負荷		単位	2018年	2019年	2020年
CO2排出量	二酸化炭素 ※1	kg-CO2	101,854.03	108,673.10	64,121.50
エネルギー 使用量	電力 本社	kWh	6,514.00	5,509.00	5,341.00
	建設現場等	kWh	687.00	53,768.00	338.00
	ガソリン 本社	L	6,001.10	5,135.01	5,015.70
	建設現場等	L	6,747.60	5,633.54	4,082.40
	軽油 本社	L	0.00	0.00	0.00
	建設現場等	L	25,711.20	20,935.36	15,639.30
	灯油 本社	L	0.00	0.00	18.00
	建設現場等	L	0.00	59.90	89.07
	A重油	L	0.00	0.00	0.00
	都市ガス	m3	0.00	0.00	0.00
LPGガス 本社	kg	0.00	0.00	0.00	
建設現場等	kg	434.00	298.80	142.30	
液化天然ガス	kg	0.00	0.00	0.00	
一般廃棄物	総排出量	kg	564.10	404.34	349.55
	中間処理量	kg	564.10	404.34	349.55
	うち再資源化量	kg	430.50	313.74	286.85
	最終処分(埋立)量	kg	0.00	0.00	0.00
	再資源化率	%	76.32	77.59	82.06
産業廃棄物 ※2	総排出量	kg	4,437,293.00	2,263,332.00	1,867,920.00
	中間処理量	kg	4,427,211.00	2,246,862.00	1,860,520.00
	うち再資源化量	kg	4,427,132.00	2,246,862.00	1,860,520.00
	最終処分(埋立)量	kg	10,082.00	16,470.00	7,400.00
	再資源化率	%	99.77	99.27	99.60
産業廃棄物 (特別管理)	総排出量	kg	0.00	0.00	0.00
	中間処理量	kg	0.00	0.00	0.00
	うち再資源化量	kg	0.00	0.00	0.00
	最終処分(埋立)量	kg	0.00	0.00	0.00
	再資源化率	%	0.00	0.00	0.00
水使用量	上水	m3	112.50	104.00	90.00
	工業用水	m3	0.00	0.00	0.00
	地下水	m3	0.00	0.00	0.00
化学物質 使用量	P R T R法対象物質	-	0.00	0.00	0.00

※1 電力のCO2排出係数は、2017～2019年は0.483kg-CO2/kWh、2020年は0.347kg-CO2/kWhを用いて算出しています。

※2 産業廃棄物の排出量等は、有価物を含んで算出しています。

4. 環境負荷の削減目標と、目標に対する実績

環境負荷の削減目標と、目標に対する実績（2020年1月～2020年12月）は次の通りです。

建設業は、売上高の大幅な変動が予想されるため、原単位（売上高100万円当り）での削減を目標としました。

2021年～2024年の目標は、基準年2009年の実績に対する削減率としています。

<環境経営目標と実績>

単位：売上100万円当り

項目	目標	【基準年】	【今回活動期間】		【中期目標】			
		2009年	2020年		2021年	2022年	2023年	2024年
		実績 (総量) 原単位 売上296百万円	目標 削減率 原単位	実績 (総量) 原単位 売上251百万円	目標 削減率 原単位	目標 削減率 原単位	目標 削減率 原単位	目標 削減率 原単位
CO2の排出量 (Kg-Co2)		(117923.5) 398.4	10%削減 358.6	(64121.5) 255.1	20%削減 318.7	30%削減 278.9	40%削減 239.1	50%削減 199.3
電気使用量 (kWh)		(9143.0) 30.9	4%削減 29.7	(5679.0) 22.6	4%削減 29.7	5%削減 29.4	5%削減 29.4	5%削減 29.4
ガソリン使用量 (L)		(13636.0) 46.1	20%削減 36.9	(9098.1) 36.2	30%削減 32.3	40%削減 27.7	45%削減 25.4	50%削減 23.1
軽油使用量 (L)		(29420.4) 99.4	20%削減 79.5	(15639.3) 62.2	30%削減 69.6	40%削減 59.6	45%削減 54.7	50%削減 49.7
灯油使用量 (L)		(25.3) 0.085	2019年維持 0.213	(107.1) 0.426	2019年維持 0.213	2019年維持 0.213	2019年維持 0.213	2019年維持 0.213
LPガス使用量 (kg)		(1326.4) 4.500	50%削減 2.250	(142.3) 0.570	60%削減 1.800	70%削減 1.350	75%削減 1.130	80%削減 0.900
産業廃棄物のリサイクル率(%)		99.63%	産業廃棄物のリサイクル促進 99.60%		産業廃棄物のリサイクル促進	産業廃棄物のリサイクル促進	産業廃棄物のリサイクル促進	産業廃棄物のリサイクル促進
一般廃棄物の排出量 (kg)		(513.5) 1.735	85%削減 0.260	(62.7) 0.249	85%削減 0.260	85%削減 0.260	86%削減 0.243	86%削減 0.243
水の使用量 (m3)		(174.0) 0.588	10%削減 0.347	(100.0) 0.398	20%削減 0.308	30%削減 0.270	40%削減 0.231	50%削減 0.193
化学物質の削減、管理		-	適正管理	該当物質なし・SDS管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
グリーン購入、調達の推進	事務用品	全22品目	グリーン商品の優先的購入	グリーン商品を優先的に購入	グリーン商品の優先的購入	グリーン商品の優先的購入	グリーン商品の優先的購入	グリーン商品の優先的購入
	建設資材	-	再生資材の利用に努める	再生資材の利用に努めた	再生資材の利用に努める	再生資材の利用に努める	再生資材の利用に努める	再生資材の利用に努める
環境にやさしい設計、施工、資材の提案		-	・環境配慮した工法、資材検討 ・工法等の提案	・環境対策型建設機械利用 ・環境配慮した資材の利用	・環境配慮した工法、資材検討 ・工法等の提案	・環境配慮した工法、資材検討 ・工法等の提案	・環境配慮した工法、資材検討 ・工法等の提案	・環境配慮した工法、資材検討 ・工法等の提案
環境保全取組実施	地域ボランティア	年5回	年6回	年4回	年6回	年6回	年6回	年6回
	社員の環境教育	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回

※電力のCO2排出係数は、2009年は0.555kg-CO2/kWh、2020年は0.347kg-CO2/kWh（九州電力㈱）を用いて算出しています。

※産業廃棄物は、受注工事の内容により排出量が大幅に異なる場合がある為、リサイクル率の維持を目標としています。

リサイクル率は、有価物を除いた産業廃棄物の「再資源化量 / (再資源化量 + 減容量 + 最終処分量)」で算出しています。

※一般廃棄物排出量は、「単純焼却 + 最終処分量（不燃ごみ）」としています。

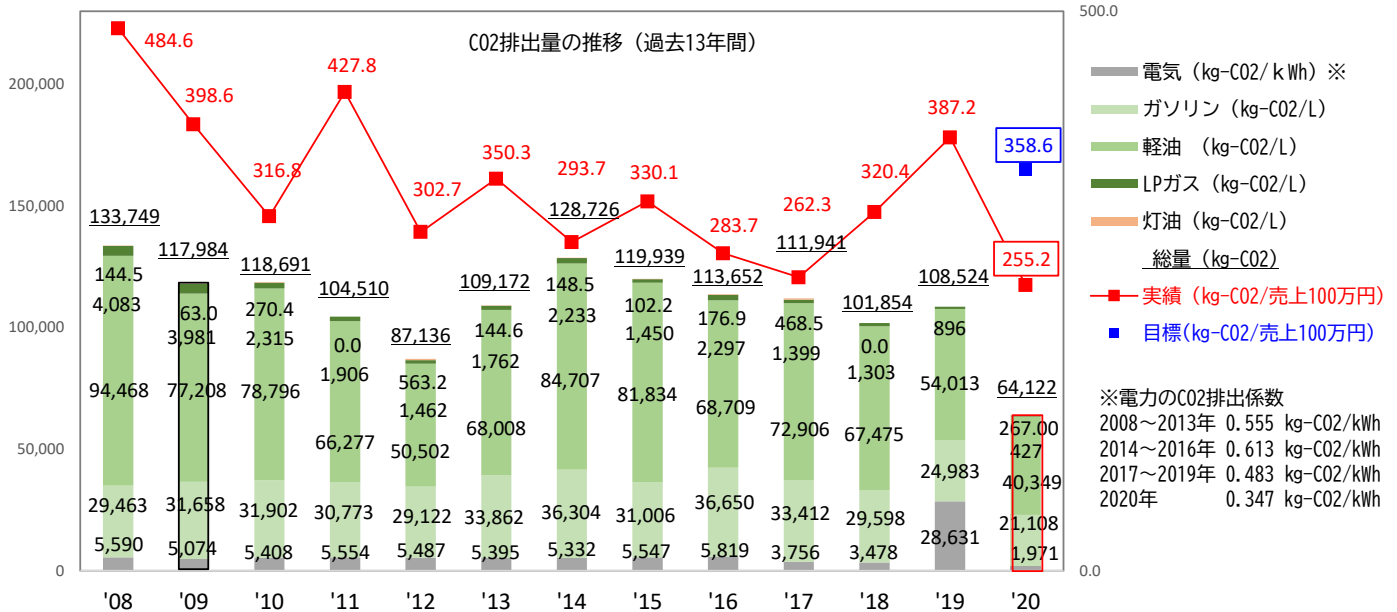
5. 目標に対する実績、及び主要な環境活動計画の取組結果の評価

目標に対する実績（2020年1月～12月）と、具体的な環境取組の結果と評価は次の通りです。
また、各項目に関連SDGsを表示しています。

CO2 排出量

CO2	<2020年目標> 2009年比 10%削減 (原単位)		
	目標値	実績値	達成率
	358.60 kg-CO2	255.20 kg-CO2	141% ★★★

達成率 (数値目標)	評価
90%以上→	★★★
60%以上→	★★
60%未満→	☆



電 気

2020年の具体的な活動内容

- | | |
|----------------------------|------------------|
| ①エアコン設定温度の徹底(夏28℃、冬20～23℃) | 96% (11.5個/12項目) |
| ②エアコンの室外機の冷却対策 | 75% (3個/4項目) |
| ③不要な照明の消灯徹底 | 100% (12個/12項目) |
| ④パソコンを省エネ設定 | 100% (8個/8項目) |
| ⑤現場での動力は、電気以外も検討 | — (動力必要現場なし) |

省エネタイプのエアコン



アルミカバー、社員も自宅用に購入しました！

節電の表示

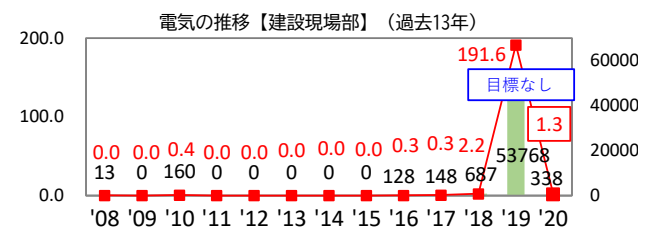
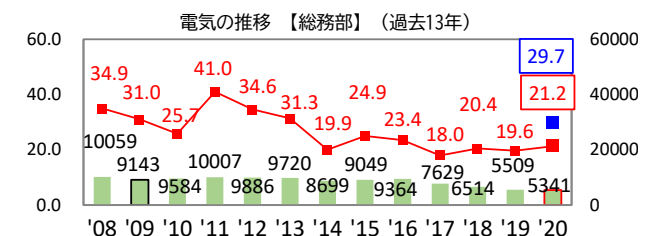
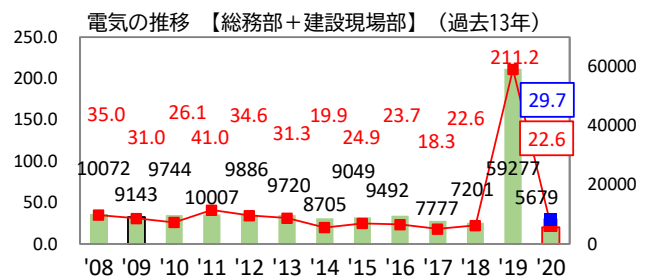


エアコン室外機の冷却対策



■2020年は数値目標(原単位)を達成する事ができました。総量に関しては、データ集計開始以来の削減率となりました。大幅削減の要因としては、昨年あった工事現場における電気使用量が今年はほぼ無かったこと、またエアコン室外機の省エネ対策(写真:上)が効果的であったことが挙げられます。今後も取組の改善に努めます。

電 気	<2020年目標> 2009年比4%削減 (原単位)		
	目標値	実績値	達成率
総務部	29.7 kWh	21.2 kWh	140% ★★★
建設現場	目標設定なし	1.3 kWh	- -
全体合計	29.7 kWh	22.6 kWh	131% ★★★



■総量(kWh) ■実績(kWh/売上100万円) ■目標(kWh/売上100万円)

ガソリン・軽油



2020年の具体的な活動内容

- ①車両、ダンプ、トラックの省エネ運転の推進
- ②車両、ダンプ、トラックの適正な点検整備
- ③建設機械の省エネ運転の推進
- ④建設機械の適正な点検整備
- ⑤効率的な業務の徹底
- ⑥適切な車間距離確保の徹底

取組評価 (○評価数/採点項目数)

- 100% (16個/16項目)
- 100% (8個/8項目)
- 100% (8個/8項目)
- 100% (12個/12項目)
- 96% (23個/24項目)
- 100% (16個/16項目)

	<2020年目標> 2009年比 20%削減 (原単位)		
	目標値	実績値	達成率
ガソリン	36.9L	36.2L	102% ★★★
軽油	79.5L	62.2L	128% ★★★

ドライブレコーダーの設置



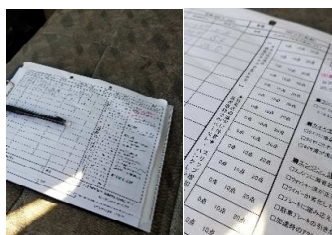
「重機の省エネ運転方法」掲示 (休憩室)



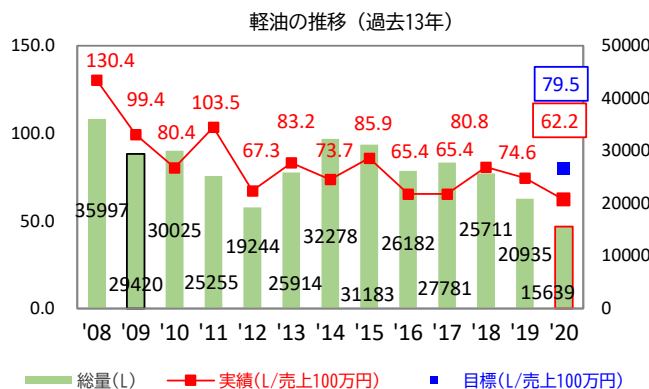
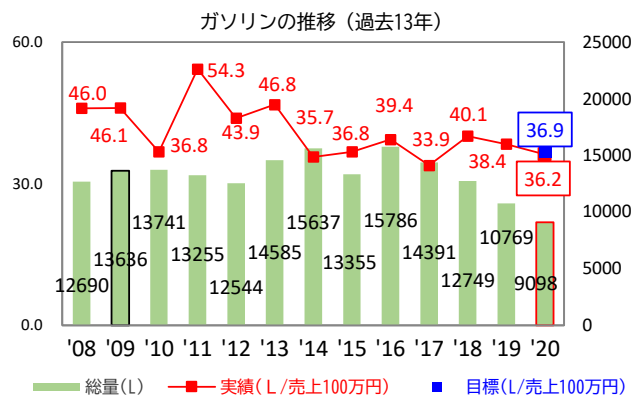
「燃費ランキング」の掲示 (休憩室)



車両日報 (省エネチェック、車両メンテナンス)



■ガソリン・軽油ともに、データ集計開始以来の数値で目標(原単位)を達成する事ができました。車両や重機は使用頻度が高い為、ドライブレコーダー設置や車両日報、エコドライブ掲示等の安全運転に繋がる取組を継続しました。例年より大幅削減できた要因の一つは、社員数の減少です。これに伴い、車両保有台数の削減、受注工事件数の減少、外注施工の増加がありました。また新型コロナウイルスによる移動制限など、例年と異なる状況が重なった結果、大幅削減となりました。今後も実情に合った取組の継続に努めます。



LPガス



具体的な活動内容

- ①ASフィニッシャーを低めの温度に設定し、LPガス使用量を削減する。
(品質に影響のない範囲内の温度内：130～150℃)
- ②電気加熱式アイロンを装備したASフィニッシャー (LPガス不要)を使用する。
※使用可能な場合のみ

取組評価 (○評価数/採点項目数)

- 100% (4個/4項目)
- 100% (4個/4項目)

LPガス	<2020年目標> 2009年比50%削減 (原単位)		
	目標値	実績値	達成率
	2.25 kg	0.57 kg	395% ★★★

ASフィニッシャー

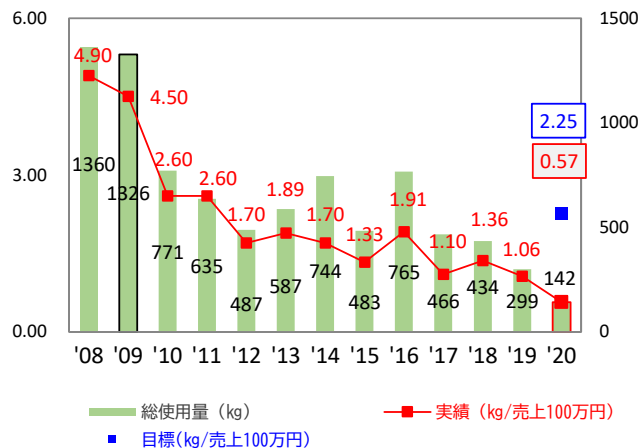


アスファルト舗装の様子



■舗装工事においてアスファルト混合物の温度低下の防止は、品質に直結する非常に重要な項目です。ASフィニッシャーは、現場に搬入されたアスファルト混合物を、LPガスで加熱したアイロンにより敷均し転圧する機械です。近年は、電気加熱式スクリード・熱風加熱式サイドプレート装備のASフィニッシャー (LPガス不使用) を使用し、CO2削減に取り組んでいます。2020年は受注工事減少や外注施工の増加により使用量削減となりました。今後も取組徹底に努め、安全かつ高品質な道路創りを目指します。

LPガスの推移 (過去13年)



産業廃棄物



具体的な活動内容

- ①計画的な資材購入による残材削減
- ②産業廃棄物の分別徹底
- ③産廃マニフェスト交付、契約書締結、保管
- ④リサイクル推進（再生資材の積極的利用等）

取組評価（○評価数/採点項目数）

- 100%（4個/4項目）
- 100%（4個/4項目）
- 100%（8個/8項目）
- 100%（8個/8項目）

産業廃棄物処分場へ持ち



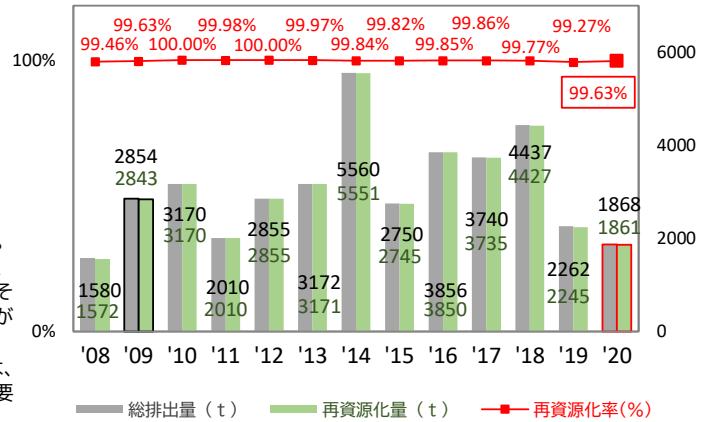
中間処理業者



■弊社が排出する産業廃棄物の約99%は公共工事（道路工事）によるものです。舗装工事は、アスファルト舗装とコンクリート舗装の2種類に大別されます。この2種類は、施工のしやすさ、振動騒音、経済性、耐久性、付加機能など特徴が異なり、それぞれ用途に合った場所に施工されています。日本の道路では現在90%以上がアスファルト舗装です。アスファルト舗装を作り替える際に剥ぎ取ったアスファルト殻は、ほぼ100%リサイクルされ、また新しい道路を作る為に使用されます。アスファルト殻は、排出量と共に需要も多い為、適正・確実なリサイクルは、言うまでもなく重要な取組です。今後もより徹底した環境取組に努めます。

産業廃棄物 リサイクル率	<2020年目標> 取組み活動の実施		
	活動目標	実績	達成状況
	左記の通り	実施できた	★★★

産廃リサイクル率の推移（過去13年）



一般廃棄物・省資源



具体的な活動内容

- ①廃棄物分別徹底(分別BOX、分別方法掲示)
- ②ミラノリット、ミラノP-削減（設定・レビュー確認等）
- ③裏紙・両面・集約利用促進(裏紙BOX設置等)
- ④ホワイトボード、電子メール、社内LANの活用
- ⑤工事書類保存BOXの再利用
- ⑥電子納品の促進
- ⑦3S（整理、整頓、清掃）の促進

取組評価（○評価数/採点項目数）

- 100%（8個/8項目）
- 100%（12個/12項目）
- 100%（12個/12項目）
- 100%（8個/8項目）
- 100%（6個/6項目）
- 100%（4個/4項目）
- 100%（4個/4項目）

ゴミ分別BOX(品目の表示)



工事書類保存BOXの再利用



使用済BOXストック

オンデマンド印刷(複合機)

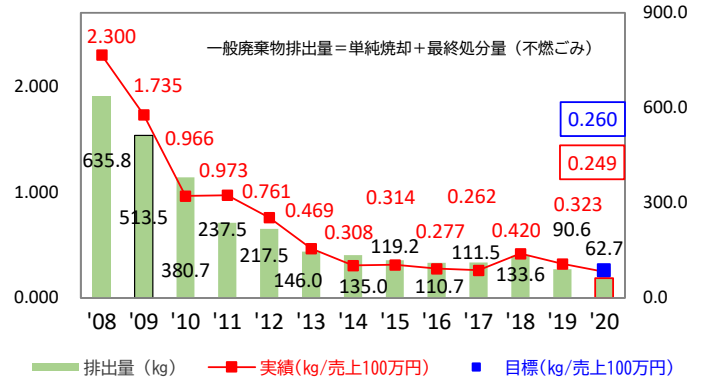


裏紙・両面・集約の推進



一般廃棄物	<2020年目標> 2009年比 85%削減 (原単位)		
	目標値	実績値	達成率
	0.260 kg	0.249 kg	104% ★★★

一般廃棄物排出量の推移（過去13年）



■2020年も目標(原単位)・総量共に、データ集計開始以来の削減率となりました。今年の大削減の主な要因は、電子納品・情報共有システム・電子申請等の利用増加など、左記の取組の効果もありますが、社員数の減少が大きな要因だと思われます。今後も取組の改善に努めます。

水



具体的な活動内容

- ①節水の励行（節水表示、こまめな止水、ホースストッパー）
- ②雨水タンク設置、利用（舗装散水、洗車）
- ③イベント前の節水励行の徹底

取組評価（○評価数/採点項目数）

- 100%（20個/20項目）
- 100%（16個/16項目）
- 100%（1個/1項目）

雨水タンク



雨水タンク利用推進



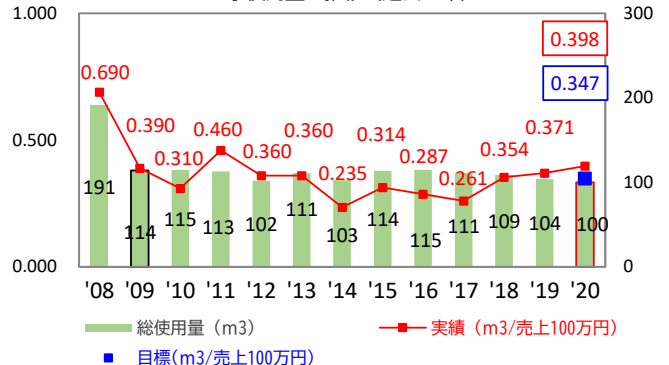
節水の表示



■数値目標(原単位)は未達でしたが、総量は過去13年間で最も削減できた一年となりました。年間を通した節水、特定イベントでの節水徹底、社員数の減少もあり、総量を削減する事ができました。雨水は工事現場での路盤散水、粉塵防止散水等に利用しています。次年は、断水時の非常用水源利用、打ち水など、節水以外の用途も検討するなど、節水と共に既存設備の有効活用にも努めます。

水	<2020年目標> 2009年比 10%削減 (原単位)		
	目標値	実績値	達成率
	0.347 m3	0.398 m3	87% ★★★

水使用量の推移（過去13年）



化学物質



具体的な活動内容	取組評価 (○評価数/採点項目数)
①化学物質の使用状況の調査。	100% (4個/4項目)
②SDSの入手と、化学物質の適正な管理。	100% (8個/8項目)

■舗装工事の使用材料には、P R T R法対象物質は含まれていませんでした。外注工事先の使用材料で、P R T R法対象物質が含まれているものは、SDSを入手し、全社員が閲覧できるようファイリングしています。また、「2020年有害物ばく露作業報告」の対象物質に「アスファルト(年間取扱500kg以上)」が指定された為、労働基準局へ報告書を提出しました。今後も取組みの徹底に努めます。

SDSファイル



化学物質	<2020年目標> 取組み活動の実施		
	活動目標	実績	達成状況
	左記の通り	実施できた	★★★

グリーン購入



具体的な活動内容	取組評価 (○評価数/採点項目数)
①事務用品はグリーン商品を優先的に購入する。	100% (4個/4項目)
②建設現場では可能な限り再生資材を利用する。	100% (4個/4項目)

■事務用品は、グリーン商品を優先的に購入しました。建設資材では、舗装工事の主材料であるアスファルト混合物の内、80%で再生資材を使用しました。また、舗装工事で必ず使用する建設機械(タイヤローラー等)のアスファルト付着防止剤は、生分解性に優れた製品(アスクリーン)を継続使用しています。今後も取組の改善と徹底に努めます。

アスファルト付着防止剤(アスクリーン)



グリーン購入促進	<2020年目標> 取組み活動の実施		
	活動目標	実績	達成状況
	左記の通り	実施できた	★★★

環境にやさしい設計・資材・工法等の提案



具体的な活動内容	取組評価 (○評価数/採点項目数)
①重機は排ガス対策,低騒音,低振動を使用する。	100% (4個/4項目)
②水質汚濁の少ない施工法,作業法を検討する。	100% (4個/4項目)
③環境配慮した工法・資材を提案,施工する。	100% (4個/4項目)

■暮らし・経済を支える基盤を「社会インフラ」と呼びます。この社会インフラの範囲は広く、港湾、空港、上下水道や電気・ガス、医療、消防・警察、行政サービスなど多岐に渡ります。弊社の主な事業である「道路」も社会インフラの重要な役割を果たしています。

環境配慮資材・提案	<2020年目標> 取組み活動の実施		
	活動目標	実績	達成状況
	左記の通り	実施できた	★★★

1 道路の「役割」って？

- (1) 通勤や買い物など暮らしの道路
 - (2) 緊急車両の通行(火災・事故・警察)
 - (3) 電気・水道・下水道・電話・都市ガスなどのライフラインの地下埋設
 - (4) 災害復時の避難路、復興の物流道路
 - (5) 火災の延焼を防ぐ
- …他にも様々な役割があります。

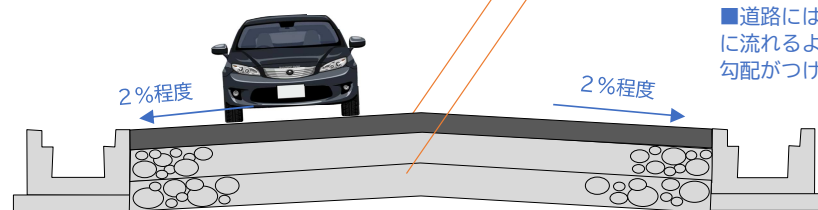
2 「道路の工事」は必要なの？

道路の工事には「道路の補修が目的の工事」と「地下埋設されているライフライン(水道、下水道、電話、ガス等)の修理等が目的の工事」があります。水道管や電話線はもちろんですが、道路自体も劣化します。長年の交通荷重や温度変化により、ひび割れ・わだち等の傷みが発生します。放っておくとひび割れから水が浸入し、道路を支える路盤の破壊に繋がってしまいます。事故を防ぐため、早めの補修(現況復旧)や修繕(機能性向上)が必要です。

3 道路はどうやって出来てるの？

■道路は、ミルフィーユのように層が重なって出来ています。下から順番に一層ずつ大型重機で締め固め、丈夫で長持ちする道路を造っています。

道路の標準断面図



■各層には、それぞれ役割があります。

表層工 → 交通の安全性(走行性・平坦性)

路盤工 → 支持基盤(荷重の分散・耐久性)

■道路には、雨水が排水溝に流れるよう通常2%程度の勾配がつけられています。

■道路の下には、水道・下水道・電話線・都市ガス等が埋設されています。

■弊社のすべての工事現場で、環境対策を行っています。
今回は、ひとつの工事現場をピックアップしてご紹介致します。

Q & A 工事担当者の黒木さんに聞いてみました。

Q1 どんな工事？

A1 宮崎駅の再整備工事のひとつで、長年の交通負荷で傷んだロータリーと、交差点を新しくする工事でした。ロータリーの外側は、半たわみ性舗装という、アスファルトの隙間に特殊なセメントミルクを流し込む、たわみ性と剛性を併せ持った耐久性のある舗装で出来ています。

Q2 工事はむずかしかった？

A2 道路利用者や関係機関が多かったので規制方法や時間の調整には気を配りました。今回の難しかった点は、工程管理でした。9～10月の工事中、台風・ゲリラ豪雨が頻発したのです。舗装工事は雨天時に施工すると品質が低下するので施工は出来ません。その為、何度も工程変更せざるを得ませんでした。夜間工事でしたので、完成直前はさすがに疲労困ぱい…。無事に、完成記念式典の日程までに完成検査を終えることができ、安心しました。



無事に完成しました！ [現場：宮崎駅西口]

渋滞防止



■JR宮崎駅周辺は交通量が多く、バス、タクシー、JR利用者、電力会社、水道局、警察、商店街、マンション住民、一般車両など様々な方への影響が懸念されました。品質が確保でき、かつ最小限の交通規制で済む施工法を検討し、夜間作業で「12分割施工」を選択・施工を行う事で、品質を確保し、最小限の交通規制で交通渋滞防止に努めました。(ロータリー4分割+交差点8分割)



■従来より速乾かつ高接着なAS乳剤を使用する事で、工事作業時間を大幅短縮しました。また、短時間でAS乳剤のタイヤ付着がなくなる為、材料搬入車両や重機による近隣道路の汚れも防止する事ができました。

苦情は1件もありませんでした！



■従来の工程より安全、かつ早く施工する事ができる「路面切削機」を使用し、交通規制時間の短縮、工期の短縮を行いました。



■近隣のマンション、JR九州、商店街、警察、その他の近隣の方へ、工事案内(ビラ)を配布し、事前に工事へのご協力をお願いしました。

品質確保



■舗装の下地部分(路盤)が凸凹していたり、高低差があると、高品質な道路(平坦性、耐久性等)を作る事が難しくなります。下地部分の高い部分は削り、凹んだ部分は埋め、舗装下地を均一にする事で、品質を確保しました。



■古い舗装下地にひび割れ(クラック)がある状態で新しい舗装を行うと、道路の劣化が早まります。古い舗装下地のひび割れに「クラック抑制シート」を張る事で、道路の劣化ひび割れ・わだちを防止しました。



■舗装工事での主要材料であるアスファルト混合物に保温シートを被せ保護する事で、雨や異物の混入を防止、また品質劣化の要因となるアスファルト混合物の温度低下を防ぎ、品質を確保しました。

騒音対策



■騒音の基準より、更に超低騒音の建設機械を使用し、夜間の騒音防止に努めました。



■従来のガソリン式ライトではなく、音の出ない(無音)の充電式液晶パネル、歩行者用ライト、投光器を使用し、夜間の騒音に努めました。



■低騒音機械がない場合は、作業箇所を防音パネルで囲い、夜間の騒音防止に努めました。

■現場周辺のホテルへ、主要重機の騒音dB数や判りやすい騒音レベル一覧表を用いて、音の大きさや時間等を事前にご説明しました。

労働安全確保



■夜間作業であった為、毎日夕方に作業手順の確認、安全確認等を行い、安全な施工に努めました。また、新型コロナウイルス感染防止対策も実施しました。



地域貢献



■充電式液晶パネルで「コロナに負けるな！」のメッセージ表示



■現場パトロールを兼ねた清掃活動の様子



■宮崎駅周辺のゴミ拾いの様子

環境保全の取組み



具体的な活動内容	取組評価	(○評価数/採点項目数)
①地域ボランティアへの参加	100%	(4個/4項目)
②環境教育の実施	100%	(2個/2項目)
③緊急時対応訓練の実施	100%	(2個/2項目)
④環境レポートの活用	100%	(8個/8項目)

<2020年目標> 環境保全取組の向上(ボランティア、社員教育)			
	目標値	実績値	達成率
地域ボランティア	年6回	年4回	67% ★★★
環境教育	年3回	年3回	100% ★★★

地域ボランティアへの参加

■2020年は、地域ボランティアに年4回参加しました。地元の建設業者で構成している「建和会」主催のボランティアや、「建設業協会」主催のボランティアに参加しました。また、今年は新型コロナ感染防止の為、多くのボランティアが中止となりました。今後も、建設業ならではの地元貢献ができるよう、積極的なボランティア活動に努めて参ります。

< 次の地域ボランティアに参加しました！ >

- 2020年1月 … 青友会 | 奉仕作業(国道388号)
- 2020年10月 … 建設業協会 | 道路清掃(国道327号)
- 2020年11月 … 建和会 | 河川アダプト(塩見川河川敷)
- 2020年12月 … 上三財健康施設奉仕作業(西都市敷地内)

自社でのボランティア活動

■弊社の主な事業内容は舗装工事で、売上高の85%は公共工事が占めています。公共工事の現場では毎回、工事区間及びその付近道路の奉仕作業を実施しています。これらの取組の継続は、道路の長寿命化・災害の防止・交通事故の防止に繋がると考えています。奉仕作業ですが「インフラメンテナンス」の一環として、今後も積極的に取り組み、地域社会への貢献に努めて参ります。

< 工事現場でのボランティア活動事例を一部ご紹介します！ >

【現場】宮崎県西都市 【工事担当者】菊田



汚れたガードレール



真っ白になりました！



歩道のゴミ拾い

プラスチック製のペットボトル、お弁当、たばこの箱、空き缶、空き瓶など、社員3名で沿道のゴミ拾いを行いました。



歩道に堆積した土砂の撤去

堆積した土砂の上に植物も生えています。人の手では大変な作業も、重機(バックホウ)なら楽々です。細かな所は人の手で清掃しました。



歩道の掃除

重機(バックホウ)で取り除ききれなかった堆積土砂は、社員がスコップで丁寧に取り除きました。沿道に溜まった落ち葉も、集めて回収処分しました。



ガードレールの清掃

排気ガス、コケ等で汚れたガードレールを高圧洗浄機で清掃し、車両から認識し易くしました。安全で、きれいな道路は、災害や交通事故を防ぎ、治安の向上にも繋がります。

受賞のご報告

■弊社が2020年7月に発行した「環境活動レポート2019」(左写真)が、以下の2つの表彰を受賞しました。

今後も、建設業の責任と役割を果たし、環境経営を通じて持続可能な社会への貢献に努めて参ります。

■「環境活動レポート2019」は、弊社のホームページやエコアクション21のサイト等で公開しています。



第13回 環境活動レポート大賞・九州

- [表彰目的] エコアクション21の普及、社会的知名度向上
- [主催] 特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会
- [受賞名] **九州地方環境事務所長 特別賞**
- [評価項目] SDGsと関連付けた課題とチャンスの明確化
災害復旧現場での環境配慮

表彰状 (九州)



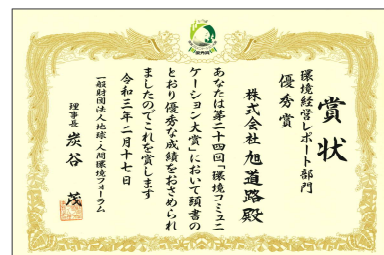
受賞パネル



第24回 環境コミュニケーション大賞

- [表彰目的] 環境経営促進、環境情報開示の質の向上
- [共催] 環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム
- [受賞名] **優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)**
- [評価項目] レポート全体の判りやすさ
工事現場での具体的な取組事例の記載
建設業(舗装工事)に対する熱意と真摯な取組

表彰状 (全国)



優秀賞のロゴマーク



6. 次年度の取組内容

次年度の環境経営計画の取組内容は次の通りです。

<2021年 環境活動取組内容>

項 目		環境方針目標	環境経営取組内容
C O 2 の 削 減	電 気 使用量の削減	2009年比 4%削減	①エアコン設定温度管理の徹底（夏28℃、冬20～23℃） ②エアコン室外機の冷却対策 ③不要な照明の消灯徹底 ④電気機器のメンテナンス（エアコンフィルター掃除、照明掃除） ⑤効率的な仕事で残業を削減 ⑥動力が必要な場合は、複数方法を検討 ⑦工事現場での電気使用時は事務所①～④に努める
	ガソリン・軽油 使用量の削減	2009年比 30%削減	①車両、ダンプ、トラックの省エネ運転の推進 ②車両、ダンプ、トラックの適正な点検整備 ③建設機械の省エネ運転の推進 ④建設機械の適正な点検整備 ⑤効率的な業務の徹底（適切なルート選定 他） ⑥適切な車間距離確保の徹底
	灯 油 使用量の削減	2019年維持	①ウォームビズの推進
	L P ガス 使用量の削減	2009年比 60%削減	①アスファルトフィニッシャーの設定温度を低めに設定し、使用する （品質に影響のない範囲内の温度内 ： 130～150℃） ②使用可能な場合は、LPガスを消費しない電気加熱式 アイロンを装備したアスファルトフィニッシャーを使用する。
産業廃棄物 のリサイクル促進		リサイクル促進の 取組活動の実施	①計画的な資材購入による残材削減 ②廃棄物の分別徹底 ③産廃マニフェストの発行、適正な管理 ④リサイクル推進活動の推進
一般廃棄物 の排出量削減		2009年比 85%削減	①廃棄物の分別の徹底 ②ミスプリント、コピーの削減 ③裏紙使用・両面印刷・集約印刷の推進 ④ホワイトボード・電子メール・社内LAN活用 ⑤3S(整理・整頓・清掃)の推進 ⑥工事書類保存BOXの再使用 ⑦電子納品の推進 ⑧情報共有システムの活用
水の使用量削減		2009年比 20%削減	①節水の励行（「節水」表示、こまめな止水） ②雨水タンク設置、利用推進 ③イベント前の節水励行の徹底
化学物質の削減 、適正管理		化学物質の 適正管理	①化学物質の使用状況の調査 ②SDSの入手、化学物質の適正な管理
購 入 促 進	グリーン商品の購入促進	グリーン商品の 優先的な購入	①事務用品はグリーン商品を優先的に購入
	グリーン調達の促進	再生資材の 利用に努める	①可能な限り再生資材を利用する
環境にやさしい工法等の提案		・情報収集 ・工法等の提案	①環境にやさしい工法、資材等の検討、提案、施工
環境保全取組実施の向上		・地域貢献（年6回） ・社員への環境教育 （年3回）	①地域ボランティア活動参加 ②環境教育の実施 ③緊急時対応訓練の実施 ④環境活動レポートの活用

7. 環境関連法規等遵守状況の確認、及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

当社に関連する主な法規制は下表の通りです。

主な法規制	内 容	遵守状況
下水道法	必要な排水渠等を設置、公共下水道管理者へ届出	遵守
水質汚濁防止法	県知事へ届出、排水状況の把握、水質汚濁防止措置、損害賠償	遵守
騒音規制法	市町村長への届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	市町村長への届出、規制基準の遵守	遵守
悪臭防止法	悪臭防止対策、野焼き禁止	遵守
廃掃法	産廃委託契約締結、管理票交付・保存義務、多量排出事業者の義務の遵守 産廃収集運搬事業者の許可、管理票回送・保管義務、収集運搬基準の遵守	遵守
リサイクル法	指定業者へ処理依頼、再生資源利用計画書等作成	遵守
容器包装リサイクル法	容器包装廃棄物の排出抑制、再商品化の促進（分別ボックス設置）	遵守
家電リサイクル法	廃棄時は指定業者へ依頼	遵守
小型家電リサイクル法	廃棄時は指定業者へ依頼	遵守
自動車リサイクル法	廃棄時は指定業者へ依頼	遵守
建設リサイクル法	廃棄物抑制、発注者へ分別解体計画説明・再資源化報告	遵守
オフロード法	適合表示の確認	遵守
高圧ガス保安法	高圧ガスの貯蔵・移動・消費に係る基準の遵守 特定高圧ガスの消費は県知事へ届出	遵守
消防法	危険物の貯蔵・取扱・運搬・積載に係る基準の遵守 少量危険物は消防署へ届出、アセトンガス等は消防署へ届出	遵守
労働安全衛生法	2020年有害物ばく露作業報告	遵守
建設業の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン	ガイドライン周知、事務所・建設現場での感染予防策実施、発生時の対応手順確認	遵守
グリーン購入法	グリーン商品の品目拡充	遵守
道路交通法	積載基準の遵守	遵守
道路法	車両制限令の遵守	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品の点検、整備、記録保存	遵守
宮崎県環境基本条例	公害防止、廃掃法の遵守、リサイクル法の遵守	遵守
みやざき県民の住みよい環境の保全に関する条例	ごみ回収ボックスの設置	遵守
宮崎県水と緑の森林づくり条例	森林の多面的機能発揮へ配慮、県推進の森林づくりへの協力	遵守
日向市環境基本条例	公害防止、廃掃法の遵守、リサイクル法の遵守	遵守
日向市の環境と自然を守る会	工事施工者の責務の遵守、公害の防止と解決	遵守
日向市火災予防条例	指定数量以下の危険物の取扱い等の遵守	遵守
宮崎県建設業協会（防災協定）	大規模災害時の応急対策協力、被害情報収集、復旧作業、建築資機材調達	遵守
宮崎県舗装協会（防災協定）	大規模災害時の応急対策協力、被害情報収集、復旧作業、建築資機材調達	遵守

2020年 3月に遵守状況を確認した結果、関連法規の違反・訴訟はありませんでした。

また、訴訟等、関係機関からの指摘、地域住民からの苦情もありませんでした。

関連法規の遵守状況確認は、毎年1回実施予定です。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

社長による全体評価と、環境経営システム見直し結果は、下表の通りです。

社長による 全体の評価 と 見直し結果

見直し日時	2021年 2月 25日 (木) 11:00~12:00	場 所	社長室
出席者	木下裕介(社長) ・ 木下 隆 (EA-21責任者) ・ 米良京子 (EA-21事務局)		

	項 目	社長による前回(2020.2.27)の指示内容	指示内容に対する取組結果
前回の指示に対する取組結果	①環境経営目標及び環境経営計画の取組結果について	・無理のない範囲で、実情に合わせた目標設定・取組活動等にする。	・実情に合った目標設定・取組とした…2021.2.25
	②環境関連法規の遵守状況について	・新規追加された環境法規は、その都度、周知すること。	・追加法規(コロナ感染防止)の周知を行った…2020.7.27
	③苦情を含む外部との環境コミュニケーションについて	・苦情には誠意を持って対応し、工事担当者から「苦情の原因」「再発防止策」を全社員へ周知すること。	・2020年は苦情はなかった…2021.2.25
	④問題点の是正と対応結果	・変更の必要なし	・指示事項なし…2021.2.25
	⑤環境マネジメントシステム全般について (環境経営方針、環境経営目標、経営計画、実施体制等)	・変更の必要なし	・指示事項なし…2021.2.25
今回の見直しに必要な情報と	インプット情報	情報内容・資料等	社長による今回(2021.2.25)の指示事項・評価
	①環境経営目標及び環境経営計画の取組結果について	2020年環境目標/活動計画表/結果管理表(全社・総務部門・建設現場部門)にて説明。水のみ数値目標(原単位)が未達(達成率96.9%)、それ以外は全て数値目標(原単位)を達成できた。例外として、地域ボランティア活動は新型コロナの影響で中止が相次ぎ目標未達となった。	・無理のない範囲で、状況に見合った目標設定・取組活動等にする。
	②環境関連法規の遵守状況について	環境法規遵守状況チェック表にて説明。(2020.7.27遵守チェック)	・新型コロナ対策ガイドラインを始め、変更や新規追加された環境法規は、その都度周知すること。
	③苦情を含む外部との環境コミュニケーションについて	外部環境情報記録表にて説明。 ・ボランティア記録 (2020年: 4件分) ・苦情記録 (2020年: 0件分)	・苦情には誠意を持って対応し、工事担当者から「苦情の原因」「再発防止策」を全社員へ周知すること。
	④問題点の是正と対応結果	問題点の是正/予防処置報告書にて説明。(2020年: 6件分)	・変更の必要なし
⑤環境マネジメントシステム全般について (環境経営方針、環境経営目標、経営計画、実施体制等)	・緊急事態対応訓練結果(1項目: 2020.6.11)の実施報告。	・変更の必要なし	

総括	代表者による 全体の評価結果	<p>2020年は、社員数3割減少という厳しい状況でのスタートであった。有資格者の減少により、施工体制の維持が課題であったが、社員の技能講習受講や下請業者さんの協力で施工体制を維持、労災ゼロで一年を終える事ができた。EA21については、施工管理者の減少に伴い、完成工事高の減少、外注施工の増加があった為、環境負荷はかなり削減された結果となった。取組みは、結果が出ているものは継続、それ以外は無理のない範囲で改善・継続して欲しい。また、今年は弊社の「環境経営レポート2019」が、「環境活動レポート大賞・九州/九州地方環境事務所長特別賞」、「第24環境経営レポート大賞/環境経営レポート部門/優秀賞」と大きな賞を連続して受賞した。企業の規模を勘案して頂いたとしても素晴らしい結果で、大変嬉しいニュースとなった。レポート作成担当者は、建設業に対する理解やインフラ整備の重要性を伝えたかったと話していた。これらを社内の良い刺激とし、工事施工での受賞も目指したい。</p> <p>2020年から一年、今も新型コロナの影響で様々な事が変化している最中である。10年に一度は自分達の力の及ばない外部環境変化があるが、事業を存続させ自社の責任を果たすため、人材確保と共に、企業体力の強化に努めていく。</p>
----	-------------------	---